

施設名

西大宮腎クリニック

記載年月

2017年 6月



『施設情報』

当クリニックは平成23年2月にJR西大宮駅北口から徒歩3分の地にオープンしました透析クリニックです。43床のベッドを有しており、現在、約110名の患者さんが利用されております。約95%の患者さんは1日置きに4時間の透析を行っております。クリニックですので入院設備がありませんので、入院が必要な時は関連病院などにて入院治療を実施しております。

『職員構成と業務内容概要』

現在クリニックでは33名(医師1名、看護師10名、臨床工学技士7名、臨床検査技師1名、管理栄養士(非常勤)1名、クレーク8名、事務5名)のスタッフにて透析業務を行っています。クリニックの業務内容としては、看護師によるフットケア、臨床工学技士は定期採血の検査結果を基に透析効率を上げる為にダイアライザの検討、シャント管理の為にバスキュラーアクセスチーム(以下、VAと略します。チームメンバー:看護師、臨床工学技士、臨床検査技師)運営、管理栄養士が定期採血の検査を基にベッドサイドにて栄養指導など、透析患者のQOL向上の為に各職種が連携して活動しています。

『取り組み内容』

臨床検査技師としての取り組みは月2回実施の定期検査の準備、検体処理(血算は造血剤の増減や、投与の判定の為に回診前に測定しています)、「検体採取等に関する厚生労働省指定講習会」を受講していますので、フットケア時に水虫疑いの時は検体を採取し検査結果を報告しています。又、透析患者は下肢血流低下により閉塞性動脈硬化症(ASO)の発症リスクが高いため、下肢動脈超音波検査、ABI・PWV検査(足関節上腕血圧比・脈波伝搬速度)、SP-P検査(皮膚組織灌流圧)などの検査を実施してASO発症の回避に努めています。シャントは透析患者の命であるのでクリニックでは3年前にVAチームを立ち上げ、週1回のミーティングを実施し、シャントトラブル(血液が引けない、返血が出来ないなど)を未然に防止する為、シャントエコーを実施しています。毎日、日常業務(定期採血準備、検査結果処理、超音波検査など)に追われて忙しいですが、看護師、臨床工学技士の協力が有り仕事をしています。